

# 地域の虹

ちいきのにじ



VOL.15

市内では、ささえあい協議会をはじめ、地域の実情に応じたさまざまな住民主体の活動が実践されています。町内会活動やふれあいサロンなど、何気ない日常の声かけが地域のつながりづくりのきっかけとなり、もしもの時のささえあいにつながります。そんな地域の“お宝”ともいえる活動をご紹介します。

## 八幡町

### 喜びと感動のパッチワーク

令和5年6月、八幡老人クラブ連合会女性部の元メンバーが「パッチワークの会」を再結成しました。現在は、毎月第4木曜日に八幡ふれあい交流館で活動しています。リーダーの厳しくも優しい指導のもと、一片の布を組み合わせた個性豊かな作品ができあがると、感動もひとしおです。

みんなが集まり、楽しくおしゃべりしながら過ごす2時間はメンバー同士の絆を深め、幸福を感じるひとときです。



▲キルトバッグ製作の様子

## 志方町

### みんなが待ちわびたカフェ再開

平成28年10月にスタートした「あさがおカフェ（認知症カフェ）」は、コロナ禍の休止期間を経て、令和5年4月、3年ぶりに再開しました。代表の山崎久美子さんは、「再開を待っていたよ」と声をかけられた時は、涙がでるほど嬉しかったと話します。

再開後、初参加の高齢者も多く、参加者が100人を超えることもあります。毎月第4金曜日、会場の志方公民館には笑顔が溢れています。



▲レクリエーションを楽しむ参加者

## 野口町

### 思いやりや笑顔があふれるサロン

鳥が岡自治会館では、毎月第3木曜日にシニアクラブが主催する「鳥が岡友愛サロン」を開催しています。簡単な健康体操から始まり、茶話会の後、折り紙やお手玉遊び、ゲームなどを楽しめます。

7月にはハンドベルやウクレレを使用した演奏会を開き、賑やかな時間を過ごしました。

スタッフが茶菓子用の敷紙や年間スケジュールを1枚ずつ手づくりしており、心温まるサロンです。



▲七夕演奏会の様子



## 西神吉町

### ここに来るのが楽しみ

西神吉会館のふれあい喫茶は、月曜日から木曜日の午前中に開催しています。民生委員・児童委員(OG含む)の女性が運営し、18年目となるこの喫茶は、心配ごとを相談できるよりどころとなっています。

他地区からの参加もOKで、わいわいおしゃべりをするもよし、1人で読書をするもよし、思い思いに喫茶の時間を楽しんでいます。「みんなの笑顔が原動力」と話すスタッフの姿も印象的です。



▲アットホームなふれあい喫茶

## 加古川町

### 自助・共助・公助+“ご近所”

令和5年10月15日(日)、氷丘地区の東満之口町内会では、避難行動要支援者(※)と地域住民と一緒に東満之口公民館まで歩く避難訓練を実施しました。

災害時には、隣近所での助け合いが何よりも大事ということで、日頃から百歳体操やサロンをはじめ、町内会行事などの住民同士が顔を合わせる機会を大切にしています。

※災害時に何らかの手助けが必要となる人



▲避難訓練の様子

## 野口町

### 誰でも気軽に集まれる場を作りたい

野口公民館エリアささえあい協議会では、令和4年10月より、「広域型つどい場(名称未定)」をスタートしました。毎月第2金曜日に、野口コミュニティ会館で百歳体操と簡単なレクリエーションをしています。この日は、社会福祉士を目指す実習生と一緒に脳トレゲームを楽しみました。

今後は、参加者の皆さんと一緒に、つどい場の名前やプログラムを考えながら、盛り上げていきたいと考えています。



▲実習生との交流

日頃、当たり前だと思っている身近な活動には、とても大切な役割があります。皆さんの住む地域の“お宝”はありますか。社協では、キラリと光る地域の“お宝”情報をお待ちしています。

社協には、市内各地区担当の生活支援コーディネーターがいます。地域で気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

問合せ先:地域福祉推進係 TEL:079(424)4318(代)